

令和 6 年度 政策討論会 第一分科会（第 2 回）要点記録

- ・日時 令和 6 年 8 月 7 日（水）
- ・場所 議会会議室
- ・会議時間 10：00～11：37
- ・出席者 昼馬 光一（座長）
岩崎 雅秋（副座長）
橘川 亜紀
高比良 正明
烏野 隆生
西田 武史
松本 妙子
岸田 厚（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ：観光資源を活用した観光客の取り込みについて

1、内容

各自の問題意識や課題などを持ち寄り、岸和田市の現状把握と課題抽出のための討議を行った。各議員の意見を座長が取りまとめ、次回分科会へ理事者の招へいし、現状把握のため説明を受けることとした。

2、各議員の発言要旨

- ・「復興天守 70 年記念」夜間貸し切りの岸和田城での薪能鑑賞の概要説明内容を絞り込みたい。（昼馬座長）
- ・現在の本市の観光資源について、観光客がどのような場所に観光しているのか、担当課から説明をしてほしい。（烏野議員）
- ・観光についての現状把握する上で、岸和田市のウェブサイトにある観光サイト「きしわだ SIDE」にあるモデルコースの現状がどのようなになっているのか。観光課のウェブサイトに掲載されている観光のイベントやスポットへの市民や市外の方の関心がどの程度か担当課から説明を聞きたい。「観光創造ビジョン・岸和田～新しいオンリーワンをつくる～」の中身についてももう少し詳しく聞きたい。岸和田には魅力のある場所として、例えば「久米田池」などは季節ごとに野鳥が飛来し、その写真を撮るために多くの人が訪れている。そのような魅力を発信すればより多くの観光客の集客に繋がるのでは。（岸田議員）
- ・これまでに政策討論会のテーマとして、3 回観光に関して議論され、提案・提言されている。それを踏まえて、原課としてどう取り組んできたのかを聞かせてほしい。（西田議員）
- ・岸和田市の観光振興について、今ある資源を活かすのか、新たに創出するのか、観光課の

考え方を確認したい。これまでも、議員や市民から観光資源を活用して街を盛り上げてほしいという要望が寄せられてきたと思う。たとえば牛滝方面や岸和田城周辺では過去サウディング調査も行われているが、市としては観光で大きな成果を上げるのは難しいとの判断に至ったようである。実際、予算の構成を見ても商工費の割合は決して高くない。また、現状団体客が訪れた場合に対応が出来る宿泊施設や休憩場所は限られており、観光を快適に楽しむための環境面の整備に懸念がある。新たな観光客を呼び込むためには、周辺整備も含めた予算の投入が必要であり、既存の資源を活かす場合は、対象を絞る必要がある。後者の場合、過去高比良議員が提案されていたような映像作品の撮影誘致等による「聖地」化はその有効な手段のひとつと考えられる。観光資源の活用について考える上で、市の観光に対する方針を共通認識として把握しておきたい。(橘川議員)

- ・ガンダムファクトリー横浜で展示されていた、動くガンダムを誘致すれば、それで観光誘致は解決する。ようやく今年度から設立された、フィルムコミッションを活用し、アニメ、映画などの聖地を創り出す。アニメ Free の舞台となった岸和田高等女学校については、破壊すべきでないと言言していたが、建物の一部を復元するなどして展示室的にすべきであったが、全てを撤去しており、「古いものは壊す」との考えで、観光客を呼ぼうとしているとは考えられない。外国人客を呼ぶなら、日本人は知らなくても、地元の住民は観光資源と考えなくとも、外国人には魅力がある場所などがあり、よそ者の視点で岸和田を見直す必要がある。外国人旅行者のニーズは①自然や風景の見物②桜の鑑賞③伝統的日本料理となっており、日本の田舎ならどこでもあるものとして、岸和田でも発信可能である。SNS 戦略では、墨田区公式外国人アンバサダー制度のように出身校や年齢の異なる区内在住外国人 10 名を起用して、独自の視点で画像や動画で墨田区の魅力を発信している例がある。(高比良議員)
- ・外国人や他市の方から見て、地元民では気がつけぬ本市の魅力があると思う。新しい発見をしていただきたい。また、素晴らしい街並みがある本町の紀州街道沿いをもっと賑わいのある観光ルートとして整備してはと考える。(岩崎副座長)
- ・観光については、たくさんの方に岸和田の魅力を発信して宣伝拡散していくことが必要ではないか。一番情報拡散の早い、SNS など活用してはどうか。予算もかからず、迅速、簡単。色々な手法を活用し、担当課からも発信をお願いしたい。(松本議員)

3、次回の予定

日時：9月27日(金)10時～

場所：第一委員会室

内容：観光課を招へいし、本市の現状や課題について確認、それらを踏まえて意見交換をする予定である。